

第3回菊池市公共交通会議議事録

- 日時 令和7年2月4日（火） 13時30分～15時00分
- 場所 204会議室
- 内容詳細 資料のとおり

【議事要旨】

○議事1：菊池市地域公共交通計画素案について

〈事務局〉

「菊池市地域公共交通計画素案」に基づき説明。

〈吉城会長〉

- ・11P目標1の数値指標「地域内移動（コミュニティ交通）の市民一人あたりの財政負担額について、令和5年度が478円、令和11年度末にかけて533円になっているが、1人あたりの財政負担額を指標程度の上昇幅に抑えられるようにという意味合いか。

〈事務局〉

- ・数値目標はきくちべんりカーときくちあいのりタクシーの補助金を人口で割ったもの。令和5年度現状値についてはきくちべんりカー1,243万円、あいのりタクシー986万円の合計を人口46,653人で割った数値。令和11年度末については人口が41,000人まで下がる見込みのため、数値指標が表のとおりとなっている。

〈吉城会長〉

- ・人口が減少するため、1人あたりの負担額が増加するが、数値指標の金額に抑えることを目指してこの数値が設定されているということで理解した。

〈黒田委員〉

- ・あいのりタクシーの料金について障害者割引はあるのか

〈事務局〉

- ・現時点で障害者割引は設定していない。

〈松田様（熊本県代理出席）〉

- ・11P「公共交通に関する市民満足度」について、県の計画でも同様に住民アンケートを実施しており、各自治体から抽出し3,000人程度に依頼をした。例年23%であったが、今回は18.5%と約5%減少している。運転手不足による減便や市電の問題、交通IC系が利用できなくなる等9月までに様々な問題が報道されたため急激に減少したのではないかとと思われる。満足度の数値については、その時に出ている問題で大きく変動するため、菊池市が想定している市民満足度の調査をどのように行う予定なのか。

- ・17P「公共交通の担い手確保」について、県でも運転手不足は喫緊の課題として取り組んでいる。二種免許取得やバス事業者が求人を行うための広報に対して助成を行っている。菊池市でも交通事業者に対して支援をしてもらえるのはありがたいので前向きに検討いただきたい。
- ・20P「幹線的な路線バスの運行内容の見直し」について、不採算なバス路線を中心にと記載されているが、採算が取れているバス路線というのはほとんどないのではという印象を受けた。採算が取れているバス路線があるのであれば教えてほしい。もしないのであれば、記載の仕方を「利用者が少ない路線」等に変更したほうが良いのでは。すべての路線の見直しをするような意味に捉えかねない。

〈事務局〉

- ・11P「市民満足度」について、本市の総合計画で実施しているアンケートの設問を抜粋している。目標値について、国土交通省が実施しているアンケートの「公共交通に関する満足度」を拝見したところ、都市部 60%、地方の都市部 30%であったため、中山間地になるとさらに半分の 15%前後と想定した。現状値も 16%だったため、令和 11 年度の目標として、4 人に 1 人が満足をする 25%を掲げた。
- ・17P「公共交通の担い手確保」について、熊本県と共同で実施を検討したいと考えている。本市は二種免許取得について補助はしておらず、今後調査・研究を行い進めていければと考えている。
- ・20P について、熊本電鉄バス様が運行している熊本市内と菊池市を結ぶ路線バスと七城・田島線の 2 路線ある。七城・田島線のみが補助路線であり、菊池市～熊本市の路線については独自で運行されているため採算が取れているという意味で記載している。

〈吉城会長〉

- ・満足度の数値について目標 2 に記載されているが、目標 1・目標 3 にも関係してくるのではないかな。

〈宮尾委員〉

- ・産交バスについては不採算路線となっている。素案に記載されているとおり、3 路線のわかりづらさを実感している。しかし、大津町・山鹿市など他市町が関係する路線であり、他市町が求める本数もあるためそれも踏まえた上で協議する必要がある。

〈徳丸様（熊本電気鉄道㈱代理出席）〉

- ・鉄道について 2/3 よりダイヤの見直しを行っており、それに伴い鉄道のダイヤに合わせた路線バスダイヤの見直しを実施。
- ・各地域が開発され住宅が増加し、自家用車も普及し始めた頃から公共交通が衰退した。一番良いときは 500 万人ほど輸送していたが、現在は 350 万人まで減少しており赤字である。

- ・熊本県から様々なご支援いただきながら、乗合事業に関して昨年度は黒字であった。

- ・人材確保に関しては今後を見越して外国人の採用も検討できたらと考えている。

〈黒田委員〉

- ・障害者は低床バスを利用したい。電鉄バスを利用して熊本市内に行く場合、以前は前日電話をすれば低床バスを準備いただけていたが現在はどうか。

〈徳丸様（電鉄バス㈱代理出席）〉

- ・毎年7～8台程度車両の入れ替えを行っている。低床バスの普及がされてきているが、事前にご連絡いただければ準備することも可能。

〈小林様（熊本運輸支局代理出席）〉

- ・16P「地域内交通の運行形態の見直し」について、状況を踏まえてデマンド型から定時定路線への運行見直しを図るとのこと。他自治体では定時定路線で運行していたが、利用者が少なく時間帯によっては空気を運んでいるだけのため、予約制のデマンド型に変更するということが多く一般的である。菊池市のある地域では定時定路線のほうが効率的であるとのことだが、こういった特性があるのか。

- ・19P「阿蘇くまもと空港アクセス交通の運行」について、肥後大津駅へのアクセスという記載があるが、路線図をみると肥後大津駅を通っていないのではないか。

- ・あいのりタクシーや空港シャトルバス、自家用有償運送など様々な取り組みを記載されているが、輸送のすみ分け・役割を明確にするべき。明確にしないとそれぞれの輸送で利用者を取り合い共倒れになりかねない。どのモードで輸送するのか役割分担を明確にし計画してほしい。

〈事務局〉

- ・16Pについては泗水地域をイメージしている。泗水地域のあいのりタクシーについて、泗水の東西から泗水中心部に運行している。デマンド型のため運行効率は高いが事業者様の負担が増えている。泗水地域のみで完結する運行のため、複数タクシーを確保するのではなくバス型で運行できるのではと考え、資料のような見直し例を記載した。

- ・阿蘇くまもと空港アクセス交通について、阿蘇くまもと空港に直接乗り入れをすることを想定していたため、記載方法については検討したい。

〈川原田委員〉

- ・阿蘇くまもと空港について、大津駅は考えず直接乗り入れを行った方が良いのではないか。駐車料金や送迎に係る交通費等を考えると安く済むのではないかと思う。

- ・シャトルバスのバス停まで自家用車で来るとも想定すると駐車場の問題もあるので考えてもらいたい。

〈三池委員〉

- ・乗合タクシーと巡回バスではどちらの費用がかかるのか。

〈事務局〉

- ・べんりカーとあいのりタクシー全体の比較にはなるが、べんりカー約 1,200 万円、あいのりタクシー約 980 万円。車両の大きさや時間、ルートをコンパクトにし財政負担が大きくならないように計画したい。

〈野口委員〉

- ・二種免許補助等の記載があったが、交通事業者なしでは交通体系はあり得ない。手厚い支援が必要と本会議を通して感じた。
- ・15P 運転免許返納者への支援として、1,000 円の商品券を出しているとのことだが、60～70 年運転している方で、自分から返納するのではなく、周りからの説得でやむを得ず返納する。返納した方への支援として 1,000 円分の商品券は極度の差を感じる。もう少し手厚い支援が必要ではないか。他自治体の方法を参考にしたり、県全体で検討してほしい。

〈事務局〉

- ・免許返納が進んでおらず、直近菊池市内では 110 件の自主返納があった。近隣自治体の状況を踏まえながら支援の拡充を図りたい。

〈宮尾委員〉

- ・免許返納の支援について、大津町では前年度よりくまモンの IC カードを配布されている。免許返納者に対して大津町は 5,000 円、玉名市は 3,000 円ほどだったと思うが自治体によって様々。参考として共有する。

〈北島副会長〉

- ・本市でも他自治体の状況については調査している。他自治体と比較すると本市の支援額は低い状況なので見直しを行っていきたい。

〈川原田委員〉

- ・高齢者の運転免許証更新について、もう少し厳しくする必要があるのではと思うが。80 歳超えて耳も遠い方も運転されているので、自主返納よりも免許更新を検討した方がいいのではと思う。

〈園田様（菊池警察署代理出席）〉

- ・免許返納を進めているが、相手は必死に免許を取ろうとされる。農耕車を運転するために小型・大型特殊がいるなどどうしても免許が必要な方がいる。また、独居高齢者も多いためなかなか免許返納に繋がっていない。菊池管内では認知症の方が運転したまま帰ってこられないという事案が多数ある。

〈古城会長〉

- ・今まで自家用車を利用していた方がいきなりバス利用への転換は難しい。〇〇病院に行くために何時のバスに乗って…とマイ時刻表を作成できれば良い。施策 1-1 にて利用機会の提供や情報発信等が挙げられているので、このような施策を絡めながら免許返納後も利用できて実際に生活に落とし込めるような情報提供もしていく

ことが今回の計画の狙いの部分だと思う。

〈北島副会長〉

- ・今までの交通会議や各地域での懇談会でいただいた意見を基に公共交通計画素案を作成している。今後の予定としてパブリックコメントを実施するので、その中で出た意見についてまとめたものを皆さんに共有しご意見いただければと思う。

(以上)